

ペットボトルの「ボトル to ボトル」リサイクルについて

1. 経緯

箕面市は、サントリーホールディングス株式会社・サントリー食品インターナショナル株式会社と令和5年1月27日にペットボトルの「ボトル to ボトル」水平リサイクルに関する協定を締結しました。

同日より箕面市内の家庭及び一部の商店等から回収したペットボトル全量を対象に「ボトル to ボトル」水平リサイクルを開始しています。

2. 「ボトル to ボトル」水平リサイクルとは

「ボトル to ボトル」水平リサイクルとは、使用済みのペットボトルを原料にして、新たなペットボトルへ繰り返し再生することです。これにより、従来の化石由来原料を使用したペットボトルの製造時よりCO₂排出量を約60%削減することが可能となります。

市民が排出したペットボトルを、新しいペットボトルとして再生する循環型社会を形成するとともに、再生先が明確化することによる市民のリサイクル意識のさらなる向上に期待できます。



BtoB 全体の流れ



ペットボトルのボール



フレーク及びペレット



プリフォーム及びボトル

3. 普及啓発活動について

「ボトル to ボトル」水平リサイクルのための啓発展示パネルをサントリーグループより提供いただき、環境クリーンセンター内に展示しています。小学校の社会見学の際には、ペットボトルの回収から減容ボール化までの流れを説明し、展示している減容ボールの重さを実際に体験するなど、リサイクルの学習に役立てています。



啓発展示パネル



小学生社会見学の様子

令和7年6月15日には、みのおキューズモールにてサントリーホールディングス、サントリーフーズ、みのおキューズモールと「ペットボトルのラベルの塗り絵体験とサントリーサンバースのシーズン報告会」を共催し、約200人の参加者が塗り絵体験に来場しました。塗り絵体験では、参加者にペットボトルの分別の大切さを楽しく伝えることができました。

令和7年10月3～5日には、イオンスタイル箕面店の「SDGs スタンプラリーイベント」でもイオンスタイル箕面店とサントリーホールディングスの協力のもとに「ボトル to ボトル」の啓発に努めました。



塗り絵体験会場の様子



ボトル to ボトルの普及



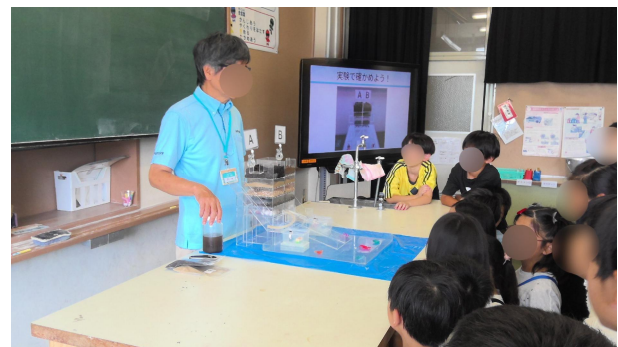
塗り絵ラベル



SDGs スタンプラリーでの啓発

4. サントリーグループのリサイクル啓発授業について

サントリーグループは、「ボトル to ボトル」等の協定を締結した自治体を中心に、リサイクル啓発授業を実施しています。今年度は箕面市でも、希望した5つの小学校にサントリーの専任講師が訪問し、リサイクル啓発授業を行いました。



リサイクル啓発授業の様子

※写真 箕面市 子ども未来創造局 学校教育室提供

5. ペットボトルの資源化について

「ボトル to ボトル」水平リサイクルの協定締結後の資源化の実績は、下表のとおりであり、高い資源化率を維持しています。

今後も「ボトル to ボトル」水平リサイクルを継続的に実施するとともに、持続可能な循環型社会の形成に取り組んでいきます。

	令和5年度	令和6年度
収集量(t)	265.00	272.95
資源化量(t)	263.11	258.68
資源化率(%)	99.2	94.8